

レジャーダイビング認定カード普及協議会
(Cカード協議会)

2016年1月定例会議議事録

- ◎ 開催期日：2016年1月21日（木） 午後16時00分より
- ◎ 開催場所：(株)PADI アジア・パシフィック・ジャパン
- ◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆BSAC JAPAN	株式会社BSAC	七尾	慶一
☆CMAS=JEFF	株式会社ジェフ	後藤	勝之
☆DACS	セントラルスポーツ株式会社	三枝	佳紀
☆JP	JPインターナショナル	平川	大輔
☆JUDF	全日本潜水連盟	吉村	忍
☆NAUI	株式会社ナウイエンタープライズ	和泉	芳則
☆PADI	株式会社パディジャパン	中野	龍男
☆SSI	株式会社SSIジャパン	栗山	禎尚
☆STRAS	水中活動研究所有限公司	岡本	康男
☆オブザーバー	静岡県ダイバーズ協議会	我妻	亨
	JRDA	有原	義則
	株式会社 エスアイドゥ	市原	隆久
	DANジャパン	小島	朗子

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

① 「ガイドの役割」及び「ダイバーの心得」の周知について

- 事務局より、当該周知文のJRDA案並びにC協作成案の2案が提示され、両案の2本立てで周知する提案がなされた。
- 同時に、JUDF吉村氏より当該周知文の文「ガイド付きダイビング参加する皆様へ」に記載の②③の文章は不必要との指摘があった。
- 吉村氏の指摘に対し、他出席者から当該文章の意味からすれば外せない文章だが、原文の表現では本来の意味が読み取れないので、表現を修正するべきとの意見があった。
- 以上の意見交換あった後、先に事務局から提案があった当該文章の2本立てではなく、JRDAの案1本に絞った方がよいとの意見が挙がり、出席者合意のもとJRDA案1本を周知することとなり、同時に吉村氏の指摘もJRDA案では該当しないため結果解決に至った。
- 次に、事務局よりJRDA案の文章に、C協加盟各社のロゴマークを記載することの承認が求められ、出席者全員の承認が得られた。

② 2015年認定動向調査実施

- 2015年の認定動向調査が行われ、結果は以下の通りとなった。

1. 貴指導機関のエントリーレベル男女別Cカード発行総数 2. 貴指導機関のダイバーレベルCカード発行総数

EN	2015年 1月～12月	前年比	2014年 1月～12月
男	19,718	83.6%	23,595
女	18,205	82.8%	21,981
合計	37,923	83.2%	45,576

TL	2015年 1月～12月	前年比	2014年 1月～12月
男	41,770	87.7%	47,646
女	37,331	90.1%	41,425
合計	79,101	88.8%	89,071

3. 貴指導機関のインストラクター総数

INST	2015年 1月～12月	前年比	2014年 1月～12月
男	8,661	98.7%	8,774
女	2,409	89.4%	2,694
合計	11,070	96.5%	11,468

- ③ 2016年ダイバー自身の安全対策セミナーについて
- 事務局より、今期も東京と大阪にてダイバー自身の安全対策セミナーを継続する提案があり、出席者全員の承認が得られた。
 - また、今期はセミナーのテーマを明確化し、保安庁、DAN、C協のそれぞれのプレゼンテーションにも関連性をもたせ、ダイバーに対し具体的な安全行動を提言していくこととなった。
- ④ その他
- DAN小島氏より、DAN酸素インストラクタートレーナー講習実施について紹介があり、C協加盟各社に対し、同講習会に参加するトレーナーに対する推奨確認印を求める依頼があった。
 - 静岡県ダイバーズ協議会我妻氏より、静岡県 下田メディカルセンターにおいて、ダイバーの健康診断が安価で提供されるとの紹介があり、C協サイドに希望があれば今後更に詳しい情報を提供するとの説明があった。これに対しC協各社情報提供の希望があり、以後我妻氏がこれに応えることとなった。

以上